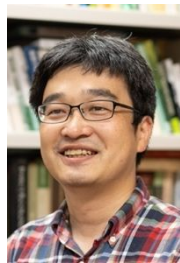


研究機関名	佐賀大学				
プログラム名	“0.1 寸の虫”たちを通してみる生態系と生物多様性				
先生(代表者)	徳田 誠(とくだ まこと)・農学部・教授				
自己紹介	専門は生態学や昆虫学です。虫こぶを作る昆虫を中心に、植物と昆虫との関係について研究しています。 また、佐賀・有明地域に生息するさまざまな生物を対象として、生物多様性の保全や病害虫の防除についても研究しています。				
開催日・募集対象	令和7年 9月 7日(日)	受講対象者	高校生	募集人数	16 名
集合場所・時間	佐賀大学農学部1号館中棟1階 生物学実験室	(集合時間)	9:30~10:00		
開催会場	住所:〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地 アクセスマップ URL: https://www.saga-u.ac.jp/access/				
内 容					
「昆虫」といえば、何を思い浮かべますか？ カブトムシやクワガタ、アゲハチョウやセミ、あるいはゴキブリなどでしょうか。 昆虫は地球上でもっとも多様性が高いグループの1つですが、そのほとんどは体長数ミリ(0.1 寸)以下の目立たない生き物です。そして、この小さな虫たちが生態系を支えていることが私たちの研究から明らかになってきました。 このプログラムでは、私たちが現在取り組んでいるタマバエに関する研究を紹介しながら、私たちが実際に扱っている昆虫たちを顕微鏡で一緒に観察します。そして、それらを用いて生物多様性を評価する方法についても体験してもらいます。 私たちと一緒に、“0.1 寸の虫”たちの多様な世界をのぞいてみませんか。そして、生態系や生物多様性について一緒に考えてみませんか。					
持 ち 物		特 記 事 項			
筆記用具 昼食 飲み物		*使い捨ての白衣はこちらで準備しますが、昆虫標本を扱いますので、多少汚れてもよい服装でお越し下さい。 *観察では、エタノールに入った昆虫標本を扱います。 *使い捨てのゴム手袋などはこちらで準備します(ゴムアレルギーの受講者用にはニトリルゴム手袋を使用してもらいます)。 *ピンセットを用いた作業の際は、講師や実施補助者の指示に従ってください。			

スケジュール

9:30～10:00 受付（集合場所 佐賀大学農学部1号館中棟1階 生物学実験室）
10:00～10:20 開講式（担当者の紹介、プログラムの説明）
10:20～10:50 講義①「世界でもっとも多様な昆虫・タマバエの秘密にせまる」
11:00～12:00 実験・実習①「マレーズトラップで採集された昆虫類の確認と観察」
12:00～13:00 昼食
13:00～13:30 講義②「生物多様性って何だろう？」
13:30～14:30 実験・実習②「多様度指数の算出と地点間比較」
14:40～15:00 実験・実習結果に関するグループディスカッションと発表
15:00～15:30 クッキータイム・科研費の説明、科研費による研究成果のポスター展示と紹介
15:40～16:10 講義③「生物多様性のこれまでとこれから：私たちにできること」
16:10～16:40 質疑・応答、プログラム全体と通して感じたこと、考えたことの発表
16:40～17:00 修了式、未来博士号授与、アンケート記入・回収後に解散

課題番号	25HT0172	分野	自然・生物	キーワード	生物多様性、生態系、昆虫、タマバエ
------	----------	----	-------	-------	-------------------

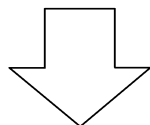
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	佐賀大学農学部・徳田 誠
住 所	佐賀県佐賀市本庄町1番地 佐賀大学農学部
T E L 番 号	0952-28-8792
E - m a i l	tokudam@cc.saga-u.ac.jp
申込締切日	2025年8月27日（水）

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生（実施代表者）の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2021年度～ 2023年度	基盤研究(B)（一般）	21H02208	昆虫における幼生生殖のメカニズムおよび適応的意義の解明
2017年度～ 2019年度	基盤研究(B)（一般）	17H03947	昆虫における植物ホルモン合成能の獲得が植食性の進化に及ぼしたインパクトの検証



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000060469848>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。